

令和6年3月16日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和6年1月～3月期実績、令和6年4月～6月期見通し)

《1》 調査時点 令和6年3月5日

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
142企業 (回答率94%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	27	2	2	3	2	10	10	8	9	4	3	26
建設業	26	2	2	3	3	13	13	5	5	3	3	26
小売業	33	9	9	2	2	11	10	9	8	2	2	31
飲食業	22	7	6	2	2	6	5	6	6	1	1	20
宿泊業	20	8	7	5	4	7	6	0	0	0	0	17
サービス業	22	2	2	2	2	12	12	3	3	3	3	22
合計	150	30	28	17	15	59	56	31	31	13	12	142

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感
⑥従業員の人数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと
⑨原材料の不足や高騰の影響 ⑩その具体的な内容

【令和6年1～3月期実績】

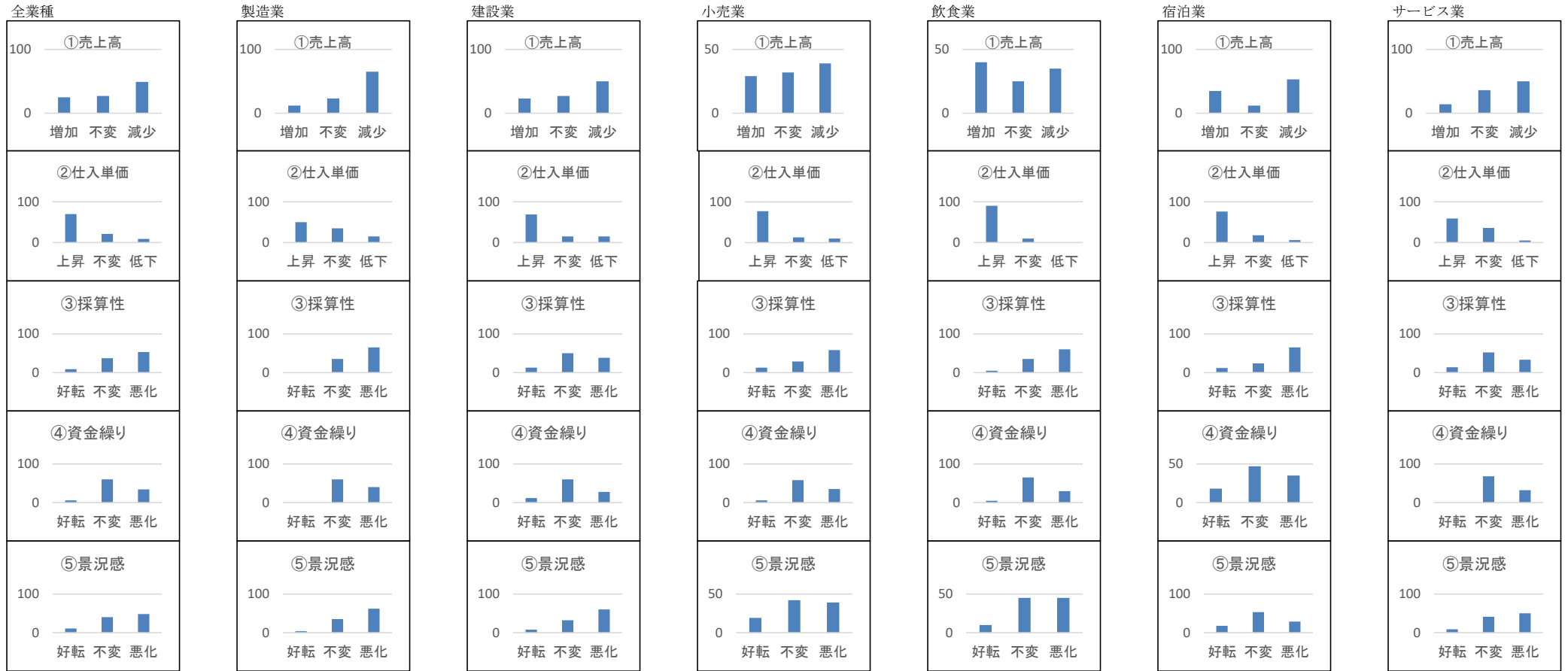
(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲2→) ▲20 (前期比18ポイント減) となり、大きく減少した。
	業種別売上高DIは、宿泊業でのみ増加、その他の業種では減少。とくに製造業では大幅に減少した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、58 (前期70) と低下した。
	業種別仕入単価DIは、サービス業では上昇し、小売業では横ばい、その他の業種では低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲26→) ▲40 (前期比14ポイント減) となり、マイナス幅が拡大した。
	業種別採算性DIは、サービス業では上昇、製造業、建設業、小売業、飲食業、飲食業では低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲16→) ▲26 (前期比10ポイント減) となりマイナス幅が拡大した。
	業種別資金繰りDIは、全業種において低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲12→) ▲34 (前期比22ポイント減) となり、マイナス幅が拡大した。
	業種別の景況感DIは、全業種において低下した。とくに飲食業・宿泊業においては大幅に低下した。

【令和6年4～6月期の見通し】

	全業種の売上高DIは、▲19となり1ポイントマイナス幅が縮小する見通し。(好転)
	業種別売上高DIは、製造業、宿泊業、サービス業が増加し、建設業、小売業で減少する見通し。飲食業は横ばい。
(2)	全業種の仕入単価DIは、61となり、ほぼ横ばいとなる見通し。(やや好転)
	業種別仕入単価DIは、製造業、建設業、宿泊業が上昇し、小売業、飲食業、サービス業で低下の見通し。
(3)	全業種の採算単価DIは、▲41となり1ポイントマイナス幅が拡大する見通し。(悪化)
	業種別採算性DIは、飲食業、宿泊業、サービス業では上昇し、製造業、建設業、小売業では低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲28となり2ポイントマイナス幅が拡大する見通し。(悪化)
	業種別の資金繰りDIは、サービス業で上昇。製造業、小売業、飲食業、宿泊業では低下する見通し。建設業は横ばい。
(5)	全業種の景況感DIは、▲36となり2ポイントマイナス幅が拡大する見通し。(悪化)
	業種別の景況感DIは、飲食業、宿泊業、サービス業では上昇し、製造業、建設業、小売業では低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（令和5年1月～3月）と比べた今期（令和6年1月～3月）の状況



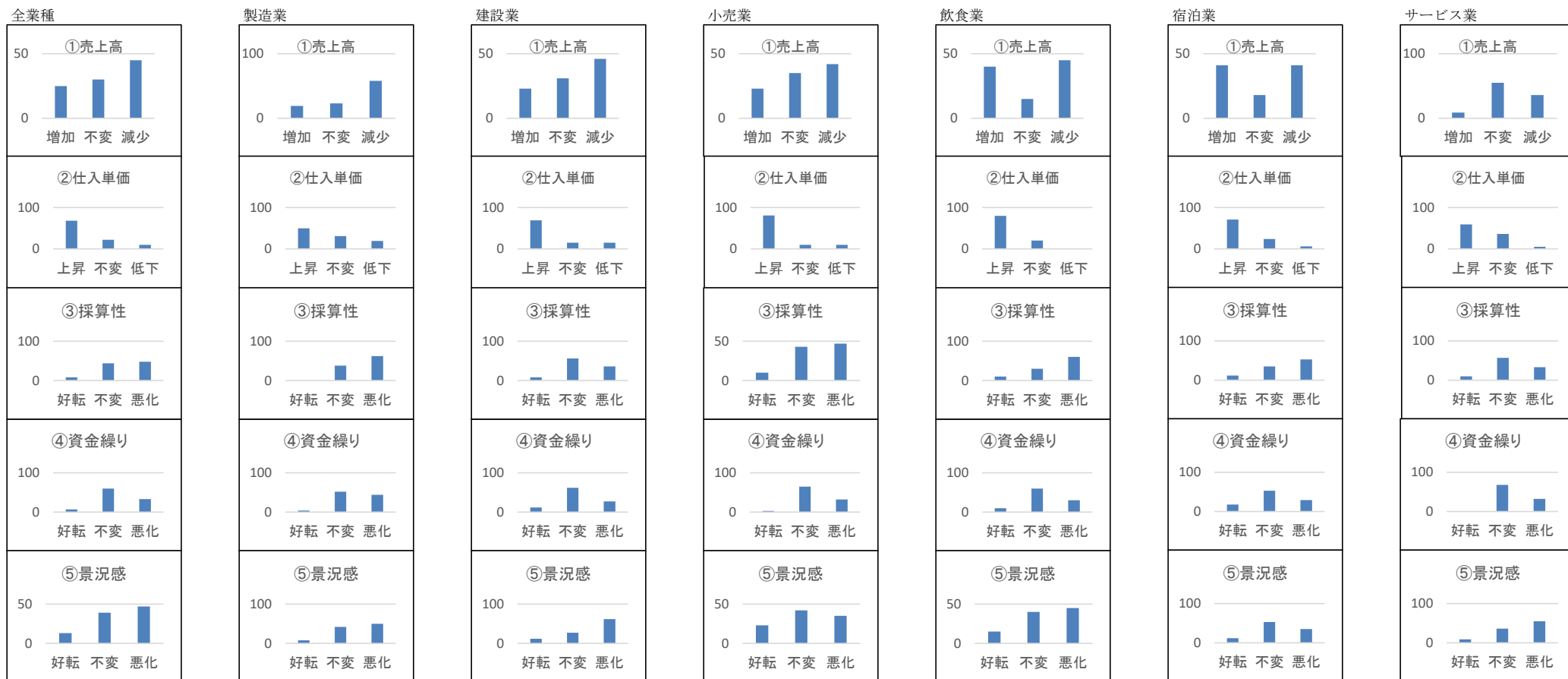
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 24	▲ 53	▲ 27	▲ 10	5	▲ 18	▲ 36
仕入単価	61	35	54	67	90	70	54
採算性	▲ 44	▲ 65	▲ 25	▲ 45	▲ 55	▲ 53	▲ 19
資金繰り	▲ 28	▲ 40	▲ 16	▲ 29	▲ 25	▲ 17	▲ 32
景況感	▲ 37	▲ 58	▲ 52	▲ 20	▲ 35	▲ 11	▲ 41

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比

前期（令和5年10月～12月）と比べた今期（令和6年1月～3月）の状況



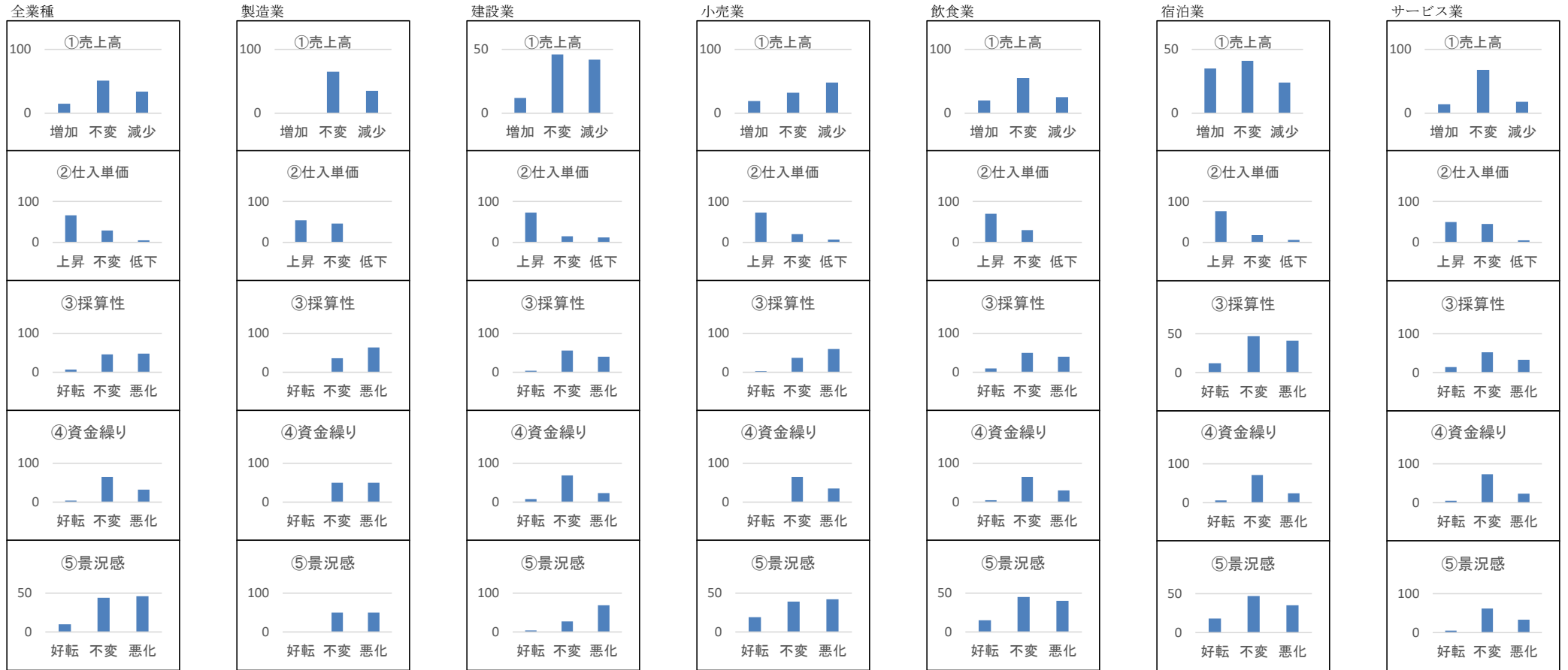
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 20	▲ 39	▲ 23	▲ 19	▲ 5	0	▲ 27
仕入単価	58	31	54	71	80	65	54
採算性	▲ 40	▲ 62	▲ 28	▲ 37	▲ 50	▲ 41	▲ 23
資金繰り	▲ 26	▲ 40	▲ 15	▲ 29	▲ 20	▲ 11	▲ 32
景況感	▲ 34	▲ 42	▲ 50	▲ 12	▲ 30	▲ 23	▲ 46

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和6年1月～3月）と比べた来期（令和6年4月～6月）の見通し

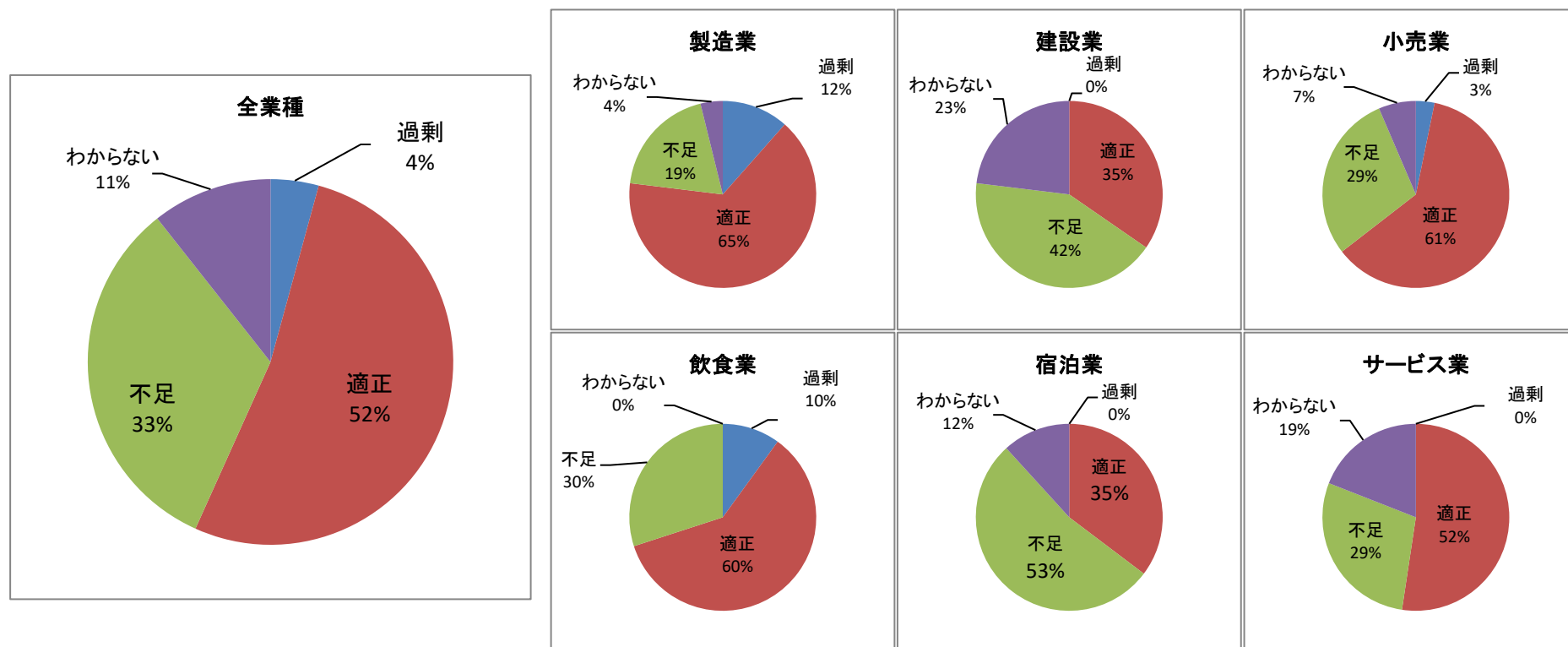


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 19	▲ 35	▲ 30	▲ 29	▲ 5	11	▲ 4
仕入単価	61	54	61	66	70	70	45
採算性	▲ 41	▲ 64	▲ 36	▲ 57	▲ 30	▲ 29	▲ 19
資金繰り	▲ 28	▲ 50	▲ 15	▲ 35	▲ 25	▲ 18	▲ 18
景況感	▲ 36	▲ 50	▲ 65	▲ 23	▲ 25	▲ 17	▲ 28

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期 (R 6. 1 ~ 3月)

⑥従業員の数 (件数)	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
過剰	6	4.3%	3	11.5%	0	0.0%	1	3.2%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
適正	74	52.5%	17	65.4%	9	34.6%	19	61.3%	12	60.0%	6	35.3%	11	52.4%
不足	46	32.6%	5	19.2%	11	42.3%	9	29.0%	6	30.0%	9	52.9%	6	28.6%
わからない	15	10.6%	1	3.8%	6	23.1%	2	6.5%	0	0.0%	2	11.8%	4	19.0%
合計	141		26		26		31		20		17		21	

対前期比（R5.10～12月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
過剰	4.3%	0.0	8.0%	3.5	0.0%	0.0	6.5%	-3.3	9.1%	0.9	0.0%	0.0	0.0%	0.0
適正	50.7%	1.8	64.0%	1.4	37.5%	-2.9	48.4%	12.9	54.5%	5.5	35.3%	0.0	61.9%	-9.5
不足	35.7%	-3.1	28.0%	-8.8	45.8%	-3.5	35.5%	-6.5	36.4%	-6.4	52.9%	0.0	19.0%	9.6
わからない	9.3%	1.3	0.0%	3.8	16.7%	6.4	9.7%	-3.2	0.0%	0.0	11.8%	0.0	19.0%	0.0

【実績】

全業種で見ると、従業員の数に「適正」と回答した経営者が最も多く全体の52.5%を占める。次いで「不足」と回答した経営者は、32.6%である。対前期比では、「適正」が1.8%増、「不足」は3.1%減、という結果となった。

（製造業）「適正」と回答した経営者が65.4%と前期に引き続き最も多く、「不足」が対前期比8.8%減少した。

（建設業）「不足」と回答した経営者が42.3%と前期に引き続き最も多く、今回も全業種において宿泊業に次ぐ高い割合で「不足」と回答された業種となった。

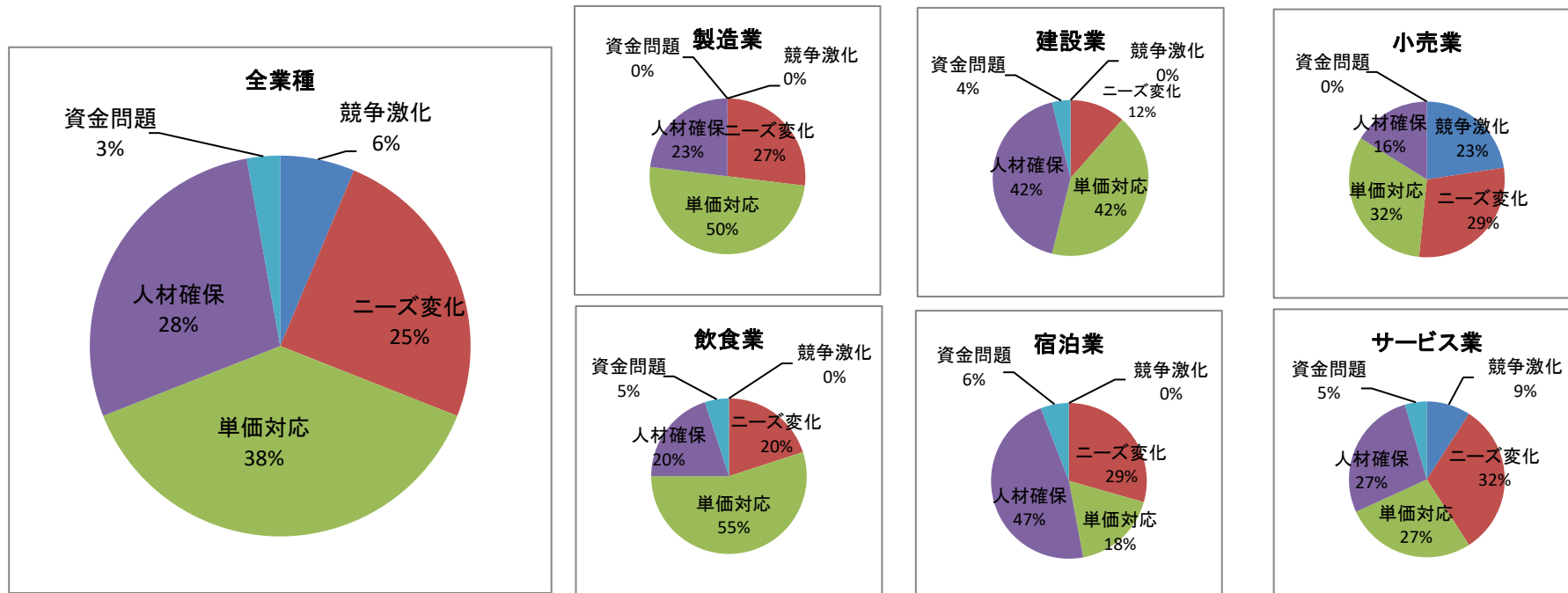
（小売業）「適正」と回答した経営者が61.3%と最も多く、対前期比12.9%増加し、「不足」が対前期比6.5%減ではあるものの、全体の29.0%を占める。

（飲食業）「適正」と回答した経営者が60.0%と最も多く、対前期比5.5%増加し、「不足」が対前期比6.4%減ではあるものの、全体の30.0%を占める。

（宿泊業）「不足」と回答した経営者が52.9%（全項目対前期比変化なし）となり、今回も全業種において最も高い割合で「不足」と回答された業種となった。

（サービス業）「適正」と回答した経営者が52.4%（対前期比9.5%減）と最も多く、「不足」が9.6%増の全体の28.6%となった。

【5】直面している経営上の問題点について



今期 (R 6. 1 ~ 3)

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
大手企業 (大型店) 進出、インターネット普及による販売競争の激化	9	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	7	22.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.1%	競争激化
消費者 (製品) ニーズ変化への対応	35	24.6%	7	26.9%	3	11.5%	9	29.0%	4	20.0%	5	29.4%	7	31.8%	ニーズ変化
仕入単価 (原材料) の上昇、販売受注単価の低下	54	38.0%	13	50.0%	11	42.3%	10	32.3%	11	55.0%	3	17.6%	6	27.3%	単価対応
必要な人材の雇用確保	40	28.2%	6	23.1%	11	42.3%	5	16.1%	4	20.0%	8	47.1%	6	27.3%	人材確保
事業資金の借入難	4	2.8%	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	1	5.0%	1	5.9%	1	4.5%	資金問題
合計	142		26		26		31		20		17		22		

対前期比（R5.10～12）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	10.1%	-3.8	12.0%	-12.0	4.2%	-4.2	25.8%	-3.2	0.0%	0.0	0.0%	0.0	9.5%	-0.4	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	21.6%	3.0	24.0%	2.9	12.5%	-1.0	19.4%	9.6	14.3%	5.7	23.5%	5.9	38.1%	-6.3	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	35.3%	2.7	36.0%	14.0	29.2%	13.1	35.5%	-3.2	57.1%	-2.1	23.5%	-5.9	28.6%	-1.3	単価対応
必要な人材の雇用確保	30.9%	-2.7	28.0%	-4.9	50.0%	-7.7	19.4%	-3.3	28.6%	-8.6	47.1%	0.0	19.0%	8.3	人材確保
事業資金の借入難	2.2%	0.6	0.0%	0.0	4.2%	-0.4	0.0%	0.0	0.0%	5.0	5.9%	0.0	4.8%	-0.3	資金問題

【実績】

全業種でみると「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」を認識する経営者が引き続き最も多く38.0%の割合となった。次いで「必要な人材の雇用確保」、「消費者（製品）ニーズ変化への対応」となった。

（製造業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が50.0%となり、10期連続で最も多く、対前期比では14.0%増。

次いで「消費者（製品）ニーズの変化への対応」が26.9%、「必要な人材の雇用確保」が23.1%であった。

（建設業）「必要な人材の雇用確保」、「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が共に42.3%と最も多い。

とくに「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」は対前期比13.1%と大幅な増加となった。

（小売業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が32.3%となり、8期連続で最も多いが、対前期比では3.2%減。

次いで「消費者（製品）ニーズの変化への対応」が29.0%（対前期比9.6%）となった。

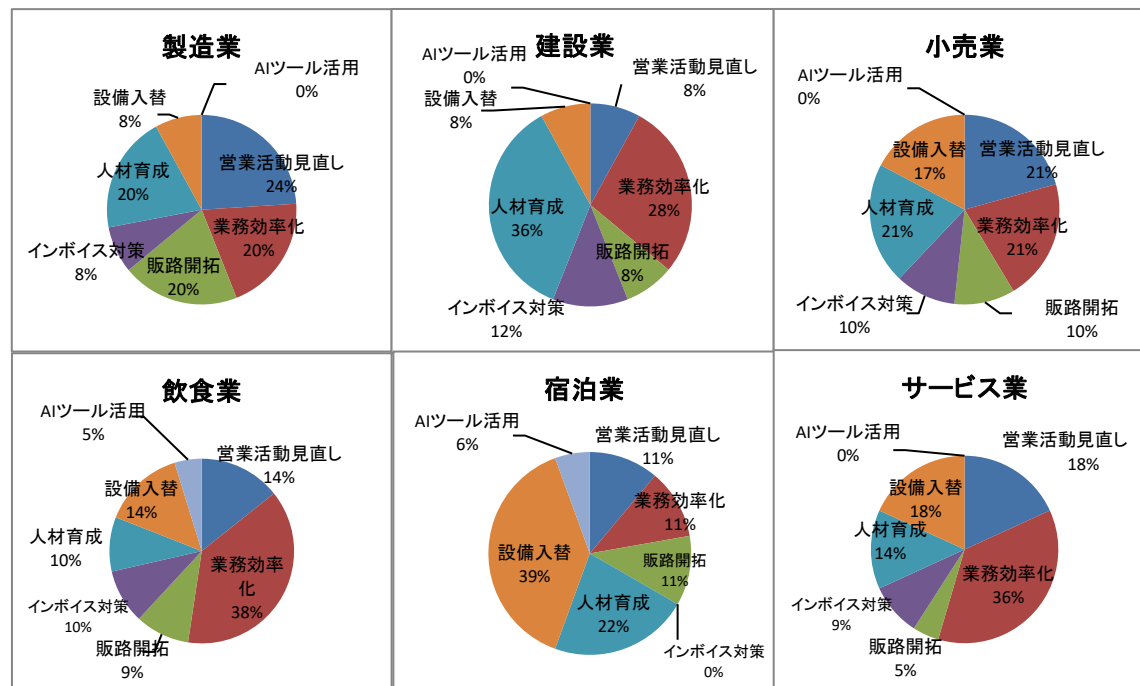
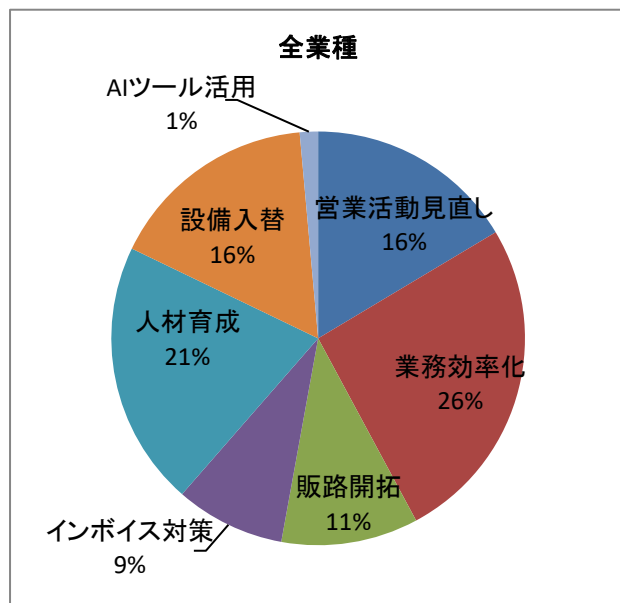
（飲食業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が55.0%となり、10期連続で最も多く、

今回も全業種においても最も高い割合となった（対前期比では2.1%減）

（宿泊業）「必要な人材の雇用確保」が47.1%と前回に引き続き最も多い。（対前期比0.0%）

（サービス業）「消費者ニーズ変化への対応」が前期に引き続き31.8%と最も多い割合となった。（対前期比6.3%減）

【6】今後、取り組んでいきたいこと



今期 (R6.1~3)

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	23	16.4%	6	24.0%	2	8.0%	6	20.7%	3	15.0%	2	11.8%	4	18.2%	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	36	25.7%	5	20.0%	7	28.0%	6	20.7%	8	40.0%	2	11.8%	8	36.4%	業務効率化
販路開拓 (商談会・展示会・プレスリリース等)	15	10.7%	5	20.0%	2	8.0%	3	10.3%	2	10.0%	2	11.8%	1	4.5%	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	12	8.6%	2	8.0%	3	12.0%	3	10.3%	2	10.0%	0	0.0%	2	9.1%	インボイス対策
人材育成、社員教育	29	20.7%	5	20.0%	9	36.0%	6	20.7%	2	10.0%	4	23.5%	3	13.6%	人材育成
設備の入替・更新	23	16.4%	2	8.0%	2	8.0%	5	17.2%	3	15.0%	7	41.2%	4	18.2%	設備入替
Chat GPTなどのAIツールの活用	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	1	5.9%	0	0.0%	AIツール活用
合計	140		25		25		29		20		17		22		

対前期比（R5.10～12）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	10.1%	6.3	0.0%	24.0	12.5%	-4.5	12.9%	7.8	5.0%	10.0	5.9%	5.9	25.0%	-6.8	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	30.2%	-4.5	28.0%	-8.0	20.8%	7.2	32.3%	-11.6	55.0%	-15.0	17.6%	-5.8	30.0%	6.4	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	10.1%	0.6	24.0%	-4.0	12.5%	-4.5	6.5%	3.8	10.0%	0.0	0.0%	11.8	5.0%	-0.5	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	8.6%	0.0	8.0%	0.0	8.3%	3.7	9.7%	0.6	10.0%	0.0	17.6%	-17.6	0.0%	9.1	インボイス対策
人材育成、社員教育	18.7%	2.0	20.0%	0.0	33.3%	2.7	16.1%	4.6	10.0%	0.0	17.6%	5.9	15.0%	-1.4	人材育成
設備の入替・更新	20.9%	-4.5	20.0%	-12.0	12.5%	-4.5	22.6%	-5.4	10.0%	5.0	41.2%	0.0	25.0%	-6.8	設備入替
Chat GPTなどのAIツールの活用□	1.4%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	5.0%	0.0	5.9%	0.0	0.0%	0.0	AIツール活用

【実績】

経営者が「今後、取り組んでいきたいこと」として全業種では、「業務の効率化、仕事の見える化」が25.7%（対前期比4.5%減）で最も多い割合となった。次いで「人材育成、社員教育」が20.7%（対前期比2.0%増）となった。

（製造業）「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」が24.0%と最も多い割合となった。（対前期比変化なし）

次いで「業務の効率化、仕事の見える化」「販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）」「人材育成、社員教育」がいずれも20.0%となった。

（建設業）「人材育成、社員教育」が36.0%と前期に続き最も多い割合となった。（対前期比2.7%増）

次いで「業務の効率化、見える化」は28.0%となった。（対前期比7.2%増）

（小売業）「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」「業務の効率化、仕事の見える化」「人材育成、社員教育」がいずれも20.7%と多い割合となった。

（飲食業）「業務の効率化、仕事の見える化」が40.0%と前期に続き最も多いが、対前期比は15.0%減少した。

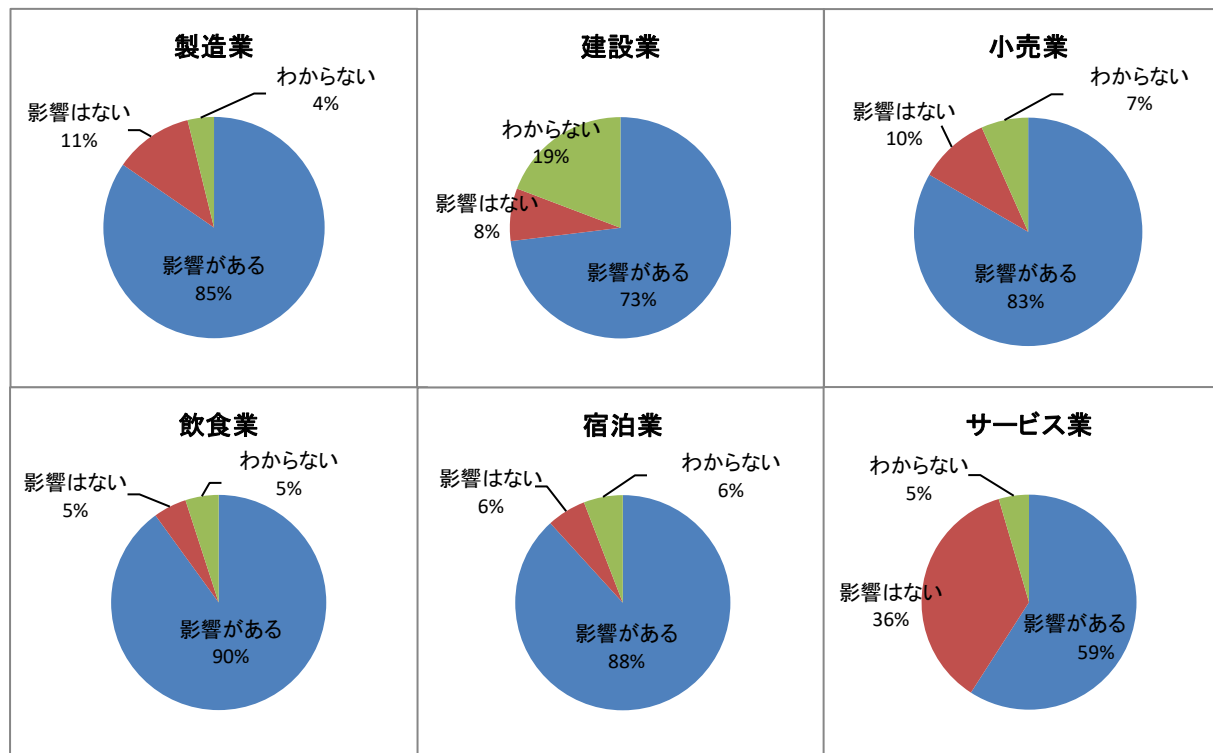
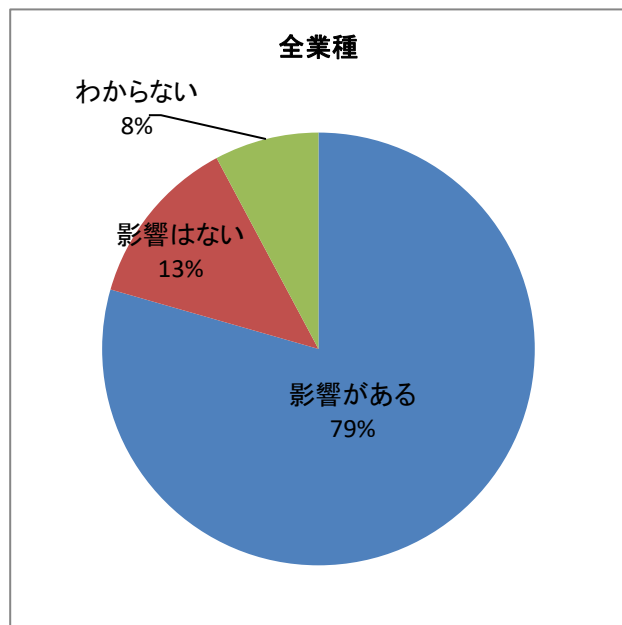
（宿泊業）「設備の入替・更新」が41.2%と前期に続き最も多い割合となった。（対前期比変化なし）

「インボイス制度対策、会計管理の見直し」が対前期比17.6%の大幅減少となった。

（サービス業）「業務の効率化、仕事の見える化」が36.4%と前期に引き続き最も多い割合となった。（対前期比6.4%増）

次いで、「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」「設備の入替・更新」が共に18.2%の割合となった。

【7】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰の影響はありますか？



今期 (R 6. 1 ~ 3)

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
影響がある	112	79.4%	22	84.6%	19	73.1%	25	83.3%	18	90.0%	15	88.2%	13	59.1%	影響がある
影響はない	18	12.8%	3	11.5%	2	7.7%	3	10.0%	1	5.0%	1	5.9%	8	36.4%	影響はない
わからない	11	7.8%	1	3.8%	5	19.2%	2	6.7%	1	5.0%	1	5.9%	1	4.5%	わからない
合計	141		26		26		30		20		17		22		

対前期比（R5.10～12）

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
影響がある	82.9%	-3.5	92.0%	-7.4	70.8%	2.3	83.9%	-0.6	95.5%	-5.5	100.0%	-11.8	57.1%	2.0
影響はない	10.0%	2.8	8.0%	3.5	12.5%	-4.8	9.7%	0.3	0.0%	5.0	0.0%	5.9	28.6%	7.8
わからない	7.1%	0.7	0.0%	3.8	16.7%	2.5	6.5%	0.2	4.5%	0.5	0.0%	5.9	14.3%	-9.8

【実績】

「影響がある」と回答した経営者の割合は、全業種で79.4%と大半を占めており、「製造業」「飲食業」「宿泊業」においても90%前後の割合で影響があると回答した。（対前期比3.5%減）

（製造業）「影響がある」と回答した経営者は、84.6%であった。（対前期比7.4%減）

（建設業）「影響がある」と回答した経営者は、73.1%であった。（対前期比2.3%増）

（小売業）「影響がある」と回答した経営者は、83.3%であった。（対前期比0.6%減）

（飲食業）「影響がある」と回答した経営者は、90.0%であった。（対前期比5.5%減）
全業種の中、で一番多く「影響がある」と指摘する経営者の割合が高い。

（宿泊業）「影響がある」と回答した経営者は、88.2%であった。（対前期比11.8%減）

（サービス業）「影響がある」と回答した経営者は、59.1%であった。（対前期比2.0%増）

【8】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰について、影響の有無に関わらず、前回調査時と比較したときの状況の変化。
 (参考：ポストコロナ、原油価格・物価高騰、円安、ゼロゼロ融資の状況、インボイスの状況等)

1	物価高騰、資材高騰（製造業・日高、出石）（建設業・但東）（小売業・出石）（飲食業・城崎、日高）（宿泊業・竹野、日高）
2	物価高騰、物によっては仕入れ時期不透明などで営業し難い。（小売業・日高）
3	バス会社が独社で運行時間・運行距離がますます決められなくなってきて、昨年の10月より運賃の単価の値上げ、今年の4月からの1日の乗務員1人での運行時間・運行距離の見直し等、国土交通省の取決めによる縛りがさらに厳しくなることを受け、売上の減少や運行回数の減少などが増えつつあることに危機感を感じてるのが現状です。（サービス業・日高）
4	単純に原油価格の高騰に伴う原材料の高騰とはいえない。今だ長引くロシア、北欧の不安定な情勢が羽毛に代表されるように原料価格に影響を与えている。（小売業・日高）
5	前回同様原材料の不足や高騰分を回収できない状況が続く。（建設業・竹野）
6	物価高騰による、資材の値上げ。人件費UP（製造業・竹野）
7	2年にわたり値上げが続いている。（小売業・城崎）
8	昨年後半から特に包装資材や紙箱等の価格が大きく上昇しており、商品の値上げをしても利益確保が厳しい状況となっている。（小売業・城崎）
9	仕入れ、光熱費が上がってる。（サービス業・出石）
10	物価高騰の割に客単価を中々上げ辛くなっており給料が上がらない。（飲食業・出石）
11	そのぶんの商品価格の値上げなど、あとはたゆまぬ経営努力。（飲食業・日高）

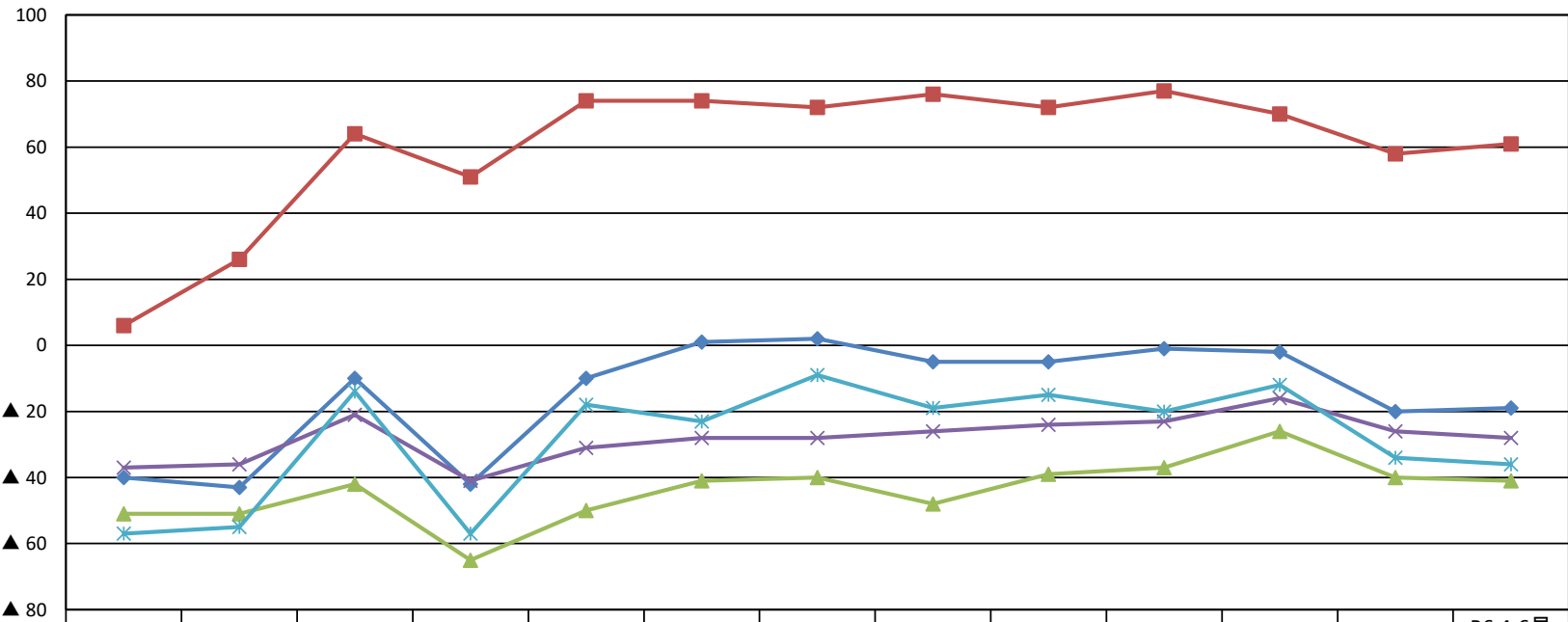
12	原材料の高騰により、入手できないことがある。（飲食業・城崎）
13	地域高齢化で商店閉鎖等増加傾向もあります。地域の活性化についても相当の努力の必要が考えられますいずれにしても人口減少が最大の課題と考えられます。（建設業・竹野）
14	原材料の価格は上昇し続けている状況です。既に4月～6月の値上げ通知も来ています。売価で調整中ですが、感覚としては新価格にお客様がついてこれない感じです。（小売業・出石）
15	取引先の人件費が高騰しているので今後の展望に不安がある。顧客開拓の必要性を感じているが方法が思い浮かばない。（製造業・但東）
16	物価高騰で客単価が下がっている。（小売業・但東）
17	原材料の不足（建設業・日高）
18	スキー場周辺の旅館業として、暖冬での雪不足が最大の痛手。暖冬といえども気温は低いので暖房は必要で、燃料の高騰は厳しい。（宿泊業・日高）
19	円安（製造業・出石）
20	輸送コストの増大及び各種製品の更なる値上げがある。（建設業・但東）
21	電子帳簿保存法やインボイス関連含め、手間だけ増え事業主側の負担増。また、最低賃金を上げて行くのは理解出来るが、いわゆる年収の壁がそのまま、人手不足をさらに招いている。（飲食業・城崎）
22	中小企業に円安の影響が大きい。ガソリン代も高く、経営に大きく影響している。（製造業・日高）

【9】自由コメント

1	慶弔事に関していえば、コロナの影響が大きな要因であると推察する。生活様式が一変したのち、元に戻る様相がない。（小売業・日高）
2	前期同期では受注案件が有り、いくつか受注でき、期を跨ぎ繰越売上になったため、今期の売上は増加したが、現在入札・受注案件が全く無く特に建築案件は全く無い状況なので来期は業界的に厳しい状況になる。まさに前年同期減少、同期増加、時期は前年同期減少、同期減少見込み。（建設業・竹野）
3	インバウンドの観光客が増えつつあるのはありがたい。（飲食業・城崎）
4	観光の面で商工会に求めることが、伴走型に変化して少なくなっている。（飲食業・出石）
5	来期に期待したいところですが、現実には厳しい模様。（製造業・出石）
6	公共事業の低下。若手人材不足。（サービス業・日高）
7	少しは仕入れが安くなったものもあるが依然として、卵、牛乳、油脂、ガス燃料は高止まり。価格転嫁も、感覚が麻痺してきてどうつけば良いかわからなくなってきた。（小売業・日高）

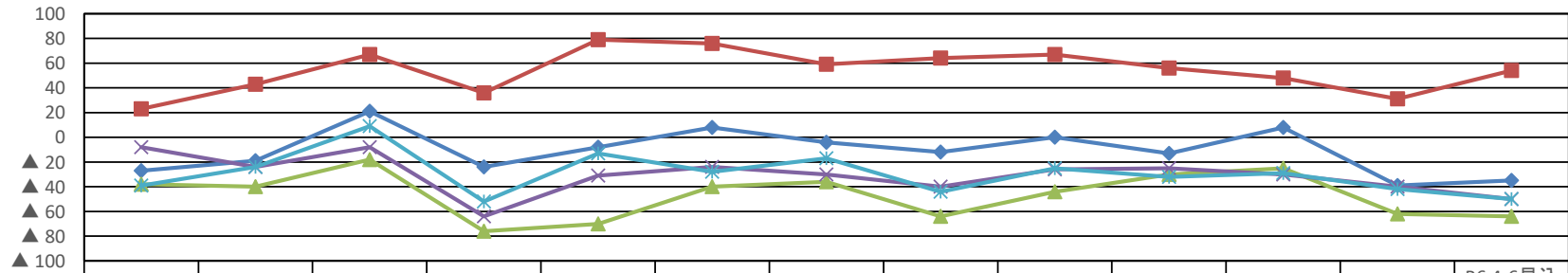
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



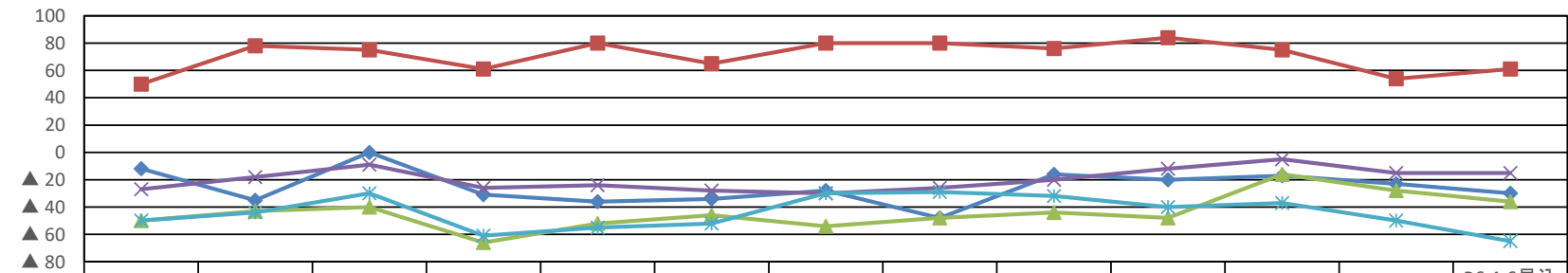
	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6見込み
● 売上高	▲ 40	▲ 43	▲ 10	▲ 42	▲ 10	1	2	▲ 5	▲ 5	▲ 1	▲ 2	▲ 20	▲ 19
■ 仕入単価	6	26	64	51	74	74	72	76	72	77	70	58	61
▲ 採算性	▲ 51	▲ 51	▲ 42	▲ 65	▲ 50	▲ 41	▲ 40	▲ 48	▲ 39	▲ 37	▲ 26	▲ 40	▲ 41
× 資金繰り	▲ 37	▲ 36	▲ 21	▲ 41	▲ 31	▲ 28	▲ 28	▲ 26	▲ 24	▲ 23	▲ 16	▲ 26	▲ 28
* 景況感	▲ 57	▲ 55	▲ 14	▲ 57	▲ 18	▲ 23	▲ 9	▲ 19	▲ 15	▲ 20	▲ 12	▲ 34	▲ 36

製造業DI推移



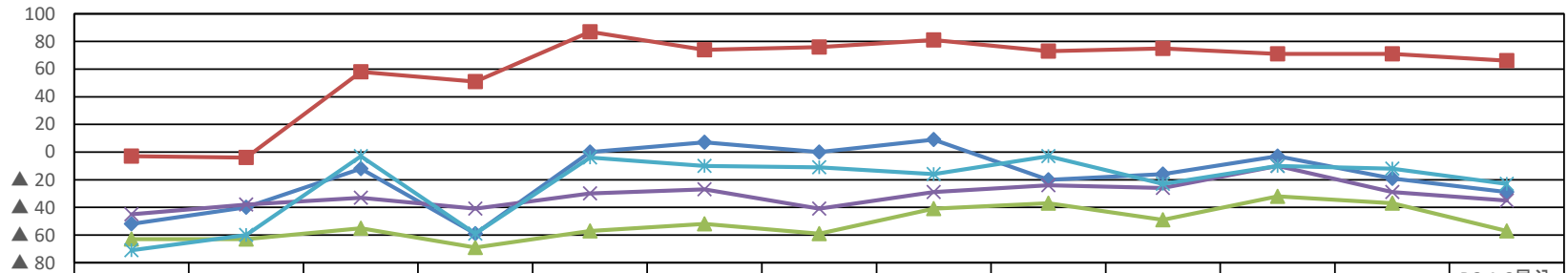
	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6見込み
● 売上高	▲ 27	▲ 19	21	▲ 24	▲ 8	8	-4	▲ 12	0	▲ 13	8	▲ 39	▲ 35
■ 仕入単価	23	43	67	36	79	76	59	64	67	56	48	31	54
▲ 採算性	▲ 38	▲ 40	▲ 18	▲ 76	▲ 70	▲ 40	▲ 36	▲ 64	▲ 44	▲ 30	▲ 25	▲ 62	▲ 64
× 資金繰り	▲ 8	▲ 24	▲ 8	▲ 64	▲ 31	▲ 24	▲ 30	▲ 40	▲ 26	▲ 25	▲ 30	▲ 40	▲ 50
✧ 景況感	▲ 39	▲ 24	9	▲ 52	▲ 13	▲ 28	▲ 17	▲ 44	▲ 25	▲ 32	▲ 29	▲ 42	▲ 50

建設業DI推移



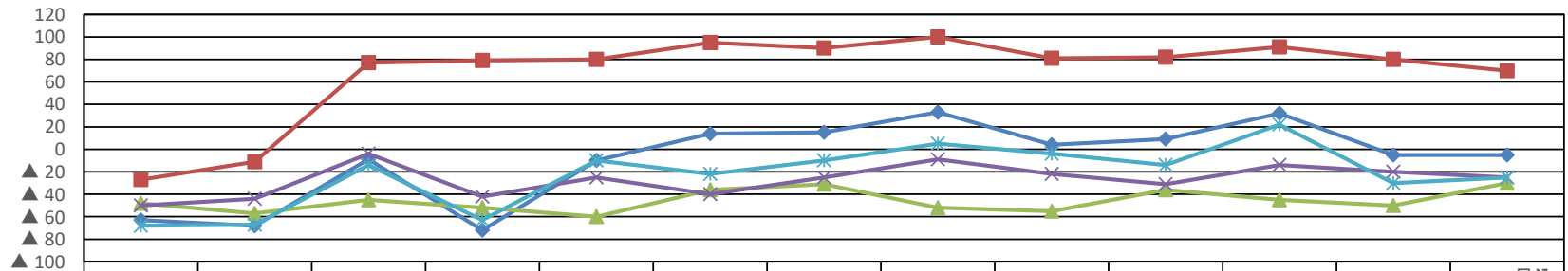
	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6見込み
● 売上高	▲ 12	▲ 35	0	▲ 31	▲ 36	▲ 34	▲ 28	▲ 48	▲ 16	▲ 20	▲ 17	▲ 23	▲ 30
■ 仕入単価	50	78	75	61	80	65	80	80	76	84	75	54	61
▲ 採算性	▲ 50	▲ 43	▲ 40	▲ 66	▲ 52	▲ 46	▲ 54	▲ 48	▲ 44	▲ 48	▲ 16	▲ 28	▲ 36
× 資金繰り	▲ 27	▲ 18	▲ 9	▲ 26	▲ 24	▲ 28	▲ 30	▲ 26	▲ 20	▲ 12	▲ 5	▲ 15	▲ 15
✧ 景況感	▲ 50	▲ 44	▲ 30	▲ 61	▲ 55	▲ 52	▲ 30	▲ 29	▲ 32	▲ 40	▲ 37	▲ 50	▲ 65

小売業DI推移



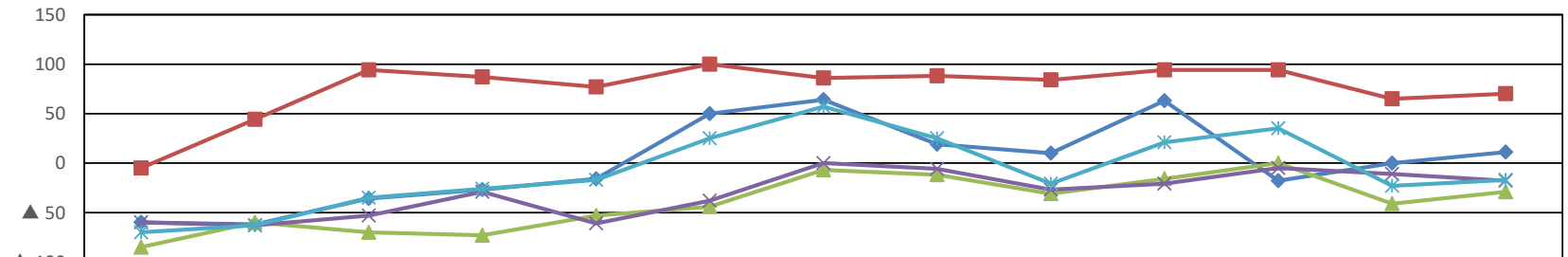
	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6見込み
● 売上高	▲ 52	▲ 40	▲ 12	▲ 59	0	7	0	9	▲ 20	▲ 16	▲ 3	▲ 19	▲ 29
■ 仕入単価	▲ 3	▲ 4	58	51	87	74	76	81	73	75	71	71	66
▲ 採算性	▲ 63	▲ 63	▲ 55	▲ 69	▲ 57	▲ 52	▲ 59	▲ 41	▲ 37	▲ 49	▲ 32	▲ 37	▲ 57
× 資金繰り	▲ 45	▲ 38	▲ 33	▲ 41	▲ 30	▲ 27	▲ 41	▲ 29	▲ 24	▲ 26	▲ 10	▲ 29	▲ 35
✧ 景況感	▲ 71	▲ 60	▲ 3	▲ 59	▲ 4	▲ 10	▲ 11	▲ 16	▲ 3	▲ 23	▲ 10	▲ 12	▲ 23

飲食業DI推移



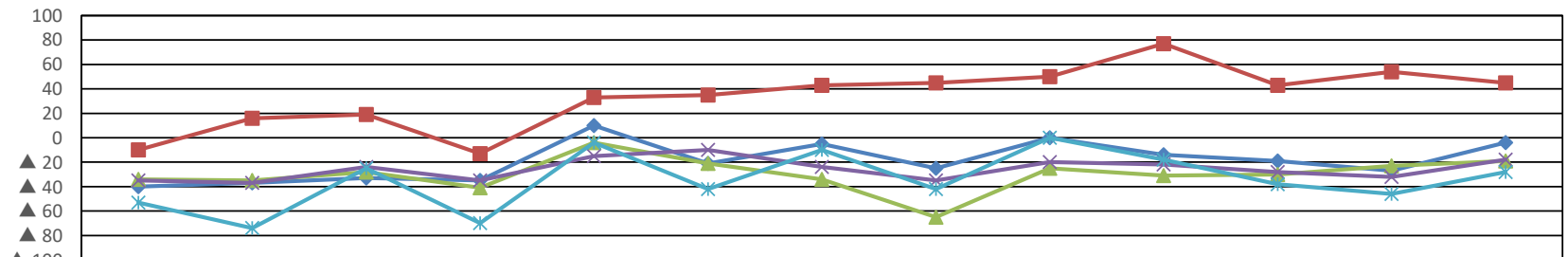
	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6見込み
● 売上高	▲ 63	▲ 68	▲ 9	▲ 72	▲ 10	14	15	33	4	9	32	▲ 5	▲ 5
■ 仕入単価	▲ 27	▲ 11	77	79	80	95	90	100	81	82	91	80	70
▲ 採算性	▲ 48	▲ 57	▲ 45	▲ 52	▲ 60	▲ 36	▲ 31	▲ 52	▲ 55	▲ 36	▲ 45	▲ 50	▲ 30
× 資金繰り	▲ 50	▲ 44	▲ 4	▲ 42	▲ 25	▲ 40	▲ 25	▲ 9	▲ 22	▲ 31	▲ 14	▲ 20	▲ 25
✧ 景況感	▲ 68	▲ 67	▲ 14	▲ 63	▲ 10	▲ 22	▲ 10	5	▲ 4	▲ 14	22	▲ 30	▲ 25

宿泊業DI推移



	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6見込み
● 売上高	▲ 60	▲ 62	▲ 36	▲ 27	▲ 16	50	64	19	10	63	▲ 18	0	11
■ 仕入単価	▲ 5	44	94	87	77	100	86	88	84	94	94	65	70
▲ 採算性	▲ 85	▲ 60	▲ 70	▲ 73	▲ 53	▲ 44	▲ 7	▲ 12	▲ 31	▲ 16	0	▲ 41	▲ 29
× 資金繰り	▲ 60	▲ 63	▲ 53	▲ 29	▲ 61	▲ 38	0	▲ 6	▲ 27	▲ 21	▲ 5	▲ 11	▲ 18
* 景況感	▲ 70	▲ 63	▲ 35	▲ 26	▲ 17	25	57	25	▲ 21	21	35	▲ 23	▲ 17

サービス業DI推移



	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6見込み
● 売上高	▲ 40	▲ 37	▲ 33	▲ 35	10	▲ 21	▲ 5	▲ 25	0	▲ 14	▲ 19	▲ 27	▲ 4
■ 仕入単価	▲ 10	16	19	▲ 13	33	35	43	45	50	77	43	54	45
▲ 採算性	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 41	▲ 4	▲ 21	▲ 34	▲ 65	▲ 25	▲ 31	▲ 30	▲ 23	▲ 19
× 資金繰り	▲ 35	▲ 37	▲ 24	▲ 35	▲ 15	▲ 10	▲ 24	▲ 35	▲ 20	▲ 22	▲ 28	▲ 32	▲ 18
* 景況感	▲ 53	▲ 74	▲ 25	▲ 70	▲ 4	▲ 42	▲ 10	▲ 42	0	▲ 18	▲ 38	▲ 46	▲ 28